

総務局

一般会計要求総額 5,421百万円
(対前年度 +26.2%)

令和2年度 予算要求の経営方針

総務局は、多様化する行政ニーズに対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、人材育成や行財政改革、情報化の推進等、全庁的な総合調整機能を果たしていくとともに、次の4点について積極的な取組みを進めていく。

- (1) しごと改革の推進
- (2) 女性活躍・ワークライフバランスの推進
- (3) 情報システム関連の整備や施設の維持管理等、行政サービスの高度化と安定的な運営
- (4) 平和への取組みの推進

【令和2年度 予算要求の基本的な考え方】

新規：新規事業、**拡充**：拡充事業

しごと改革の推進

要求額 108百万円 (対前年度 +886%)

AI (人工知能)・RPA (ロボットによる業務自動化) の活用等により、業務の効率化及び生産性の向上に向けた取組みを行い、しごと改革を推進する。

新規 ■ しごと改革関連予算

拡充 ■ 市職員生産性向上事業

女性活躍・ワークライフバランスの推進

要求額 62百万円 (対前年度 +13.8%)

女性の就業や企業等における女性の活躍をサポートすることにより、暮らしやすい社会、活力ある社会を形成し、本市への女性の定着と社会経済の活性化へとつなげていく。

拡充 ■ 女性輝き！推進事業

■ ウーマンワークカフェ北九州運営事業

新規 ■ 北九州イクボス同盟拡大推進事業



情報システム関連の整備や施設の維持管理等、

行政サービスの高度化と安定的な運営

要求額 3,110百万円 (対前年度 +15.6%)

本市の情報システムの安定稼働を図りつつ、新しいICT技術を活用して、行政サービスを市民が分かりやすく便利に利用できる市役所のデジタル化に取り組んでいく。また、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」等に基づき、総務局の所管する公共施設において、定期的・計画的な改修・整備の実施により、適正な施設の維持管理を行っていく。

新規 ■ (仮称) デジタル市役所推進事業

平和への取組みの推進

要求額 591百万円 (皆増)

戦後70年余りが経過し、当時の様子を知る人が少なくなるとともに、悲惨な戦争の記憶を風化させることがないよう、戦争を知らない世代に伝えていく。

拡充 ■ (仮称) 平和資料館建設事業

■ 非核・平和推進事業



※公開時点での予算要求の内容であり、令和2年度に実施することが確定しているものではありません。